

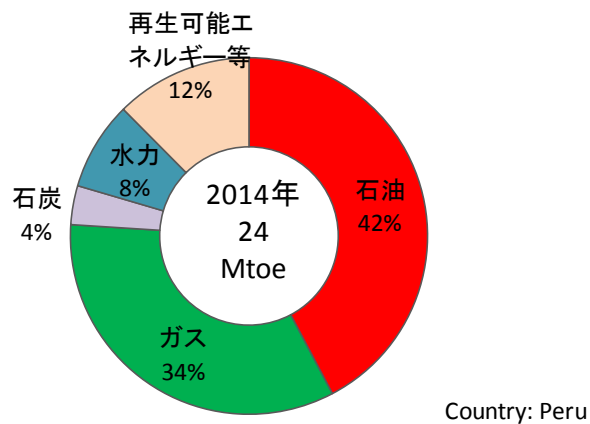
### 3-6 ペルー

#### 1. サマリー

##### 1. エネルギー事情

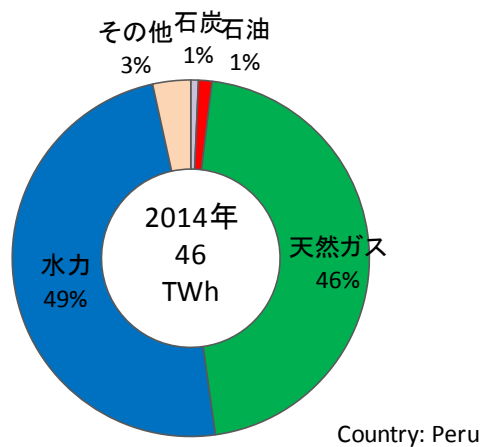
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 24 百万 toe (日本の5%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 0.77toe/人 (日本の22%)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 115%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 47.8 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の4.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 1.54 CO<sub>2</sub> 換算 ton/人 (日本の16.5%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2015年末) : 原油 34.4年、天然ガス 33.1年

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

電力供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) 資源・エネルギー政策担当機関

- ペルーの資源・エネルギー政策は、エネルギー鉱山省が担当している。エネルギー鉱山省はエネルギーと鉱業を管轄している。2016年12月時点のエネルギー鉱山大臣は Gonzalo Francisco Alberto Tamayo Flores 氏、エネルギー担当副大臣は Raúl Ricardo Pérez-Reyes Espejo 氏、鉱業担当副大臣は Guillermo Shinno Huamaní 氏である。
- 石油部門の業務監査は主にエネルギー投資監督機構が担い、国営石油会社 Perúpetro が新規探鉱・生産契約の認可を行っている。

### (2) 基本政策

- 2010年11月、エネルギー鉱山省は国家エネルギー政策 2010-2040 を発表した。
  1. 再生可能エネルギーとエネルギー効率化に重点を置いたエネルギー基盤の多様化
  2. 競争力のあるエネルギーの供給
  3. 国民にあまねく電力を普及
  4. エネルギーの生産と消費の双方において最大限効率化
  5. エネルギーの国内自給自足を達成
  6. 環境に及ぼす影響が最小で、温室効果ガス排出が抑制されたエネルギー産業の発展
  7. 天然ガス産業を育成し、高効率な発電等、家庭用、輸送用、商工業用のガス利用促進
  8. エネルギー産業の関連制度を整備・強化
  9. 長期的展望として南米域内エネルギー市場のインテグレーション

### (3) 最近の動向

- 2013年4月、ペルー国営石油会社 Petroperu はこれまで石油精製・輸送しか事業を認められていなかったが、ペルー政府はエネルギー安全保障上、強力な国営石油会社を作することを目的に、Petroperu により大きな権限を与える法律を制定した。これにより Petroperu は資源の探鉱・開発・生産、ガス事業も行えるようになった。
- 2016年4月、エネルギー鉱山省は省エネラベリング制度を開始すると発表した。冷蔵庫、洗濯機、ドライヤー、エアコン、温水器、電気モーター、ボイラーの7品目が第1ステージとして選定された。
- 2016年7月、Kuczynski 氏が大統領に就任。任期は5年。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日本は、2011年から丸紅が10%出資している Peru LNG から LNG を輸入している。2015年の LNG 輸入量は 14.8 万 ton (シェア 0.2%) であった。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Peru

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		24 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.77 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.13 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		115 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		47.8 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		1.54 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	4 %
	石油	42 %
	天然ガス	42 %
	原子力	0 %
	水力	8 %
	再生可能エネルギー等	12 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-15 %
(9) 石油の輸入依存度		6 %
(10) 輸入原油の中東依存度		0.0 %
(11) 原油の輸入先 (2015年)	第1位	エクアドル (47%)
	第2位	トリニダード・トバゴ (29%)
	第3位	コロンビア (17%)

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : エネルギー鉱山省Anuario Estadístico de Hidrocarburos 2015